

## 東洋大学 公開講座 エクステンション講座 B

### 共に生きる、人を結ぶ、地域を繋ぐ—共生思想から共生再生・創造へ—

地球温暖化を始めとする環境問題や、尖閣諸島領有問題といった国際的な対立、高齢者の孤立化、若者の孤食化、各種引きこもり減少等、現代社会において、人々は、そのつながりを断たれて、人間的な生き方が困難な状況になりつつある。

共生社会とは、人々が多様な価値観を認め合い、多様な文化や生物存在の多様性を活かすことを目指すものであり、その時代的な意義は年々大きくなりつつある。

この講座では、そうした社会現象に、社会学や文化人類学の視点から接近し、環境、文化、地域それぞれの地平における人間存在のあり方について、共生理念の具体的再生や創生を目指す試みを紹介しながら、その課題を探ることをめざして、理論的認識、実証的理解、実践的課題について、現場の実践者を交えて考察をめぐらせようとするものである。

講座 No.	63
講座名	共に生きる、人を結ぶ、地域を繋ぐ —共生思想から共生再生・創造へ—
講師	青木 辰司 (東洋大学社会学部教授) 千葉 美佐子 (NPO 法人「幸まちづくり研究会」代表) 鈴江 恵子 (NPO 法人「バードライフ・アジア」事務局長) 長津 一史 (東洋大学社会学部准教授)
場所	東洋大学 白山キャンパス
日程	第1回 青木 辰司 10月19日(水) 人間存在の現代的課題と共生思想の意義、そして理念の具現化の課題 第2回 千葉 美佐子 10月26日(水) 都市における人間と環境の共生—新たな関係性を実践の地平から考える— —神奈川県川崎市 NPO 法人「幸まちづくり研究会」の実践から— 第3回 鈴江 恵子 11月9日(水) 人間と環境の共生—自然環境資源をどう活かし、どう守るのか—NPO 法人「バードライフ・ジャパン」の実践の意義と課題— 第4回 長津 一史 11月16日(水) 文化共生の意義と課題—多様な文化をどのように理解し活かしあうか?
時間	16:30 ~ 18:00(90分)
受講料	2,000円(全4回分)
定員	50名